

2020年（令和2年）実施  
愛甲商工会  
地域経済動向調査報告書

## 目次

1. 調査の目的
2. 調査の目標
3. 調査書の決定
  - ・ 調査対象
  - ・ 調査期間
  - ・ 調査実施と提出方法
  - ・ 調査並びに集計にあたっての特記事項
  - ・ 調査書の内容
4. 地域経済動向調査の全体集計とグラフ化
5. 設備投資意欲と売上見通しの関係性について
6. 調査結果の視覚化（見える化）：景気判断（個社経営概況）指数
  - ・ 本調査における景気動向指数（個社経営概況指数）の定義
  - ・ 全産業の DI 指数（全産業の景況天気図）
  - ・ 業種別の DI 指数（業種別の景況天気図）
7. 調査に関するお問合せ先
8. 今後の当該調査の課題について

## 1. 調査の目的

愛甲商工会管内の個社の経営状況や概況、さらには、その結果を集約した地域経済の概況や躍動度等を把握し、その結果を基にした「商工会の小規模事業者（個社）支援業務のあり方」を検討することである。

## 2. 調査の目標

調査の目標は主に以下の3点である。

- ・業種毎の個社の経営概況等を踏まえ、景況感を可能な限り「視覚的に」表現する。
- ・業種毎の個社の近未来における経営や運営姿勢を踏まえ、景況見通しを「視覚的に」表現する。
- ・得られた業種毎の地域景況感や、個社の経営や運営姿勢を踏まえ、商工会の小規模事業者（個社）支援事業に活用していく。

## 3. 調査書の決定

### ・調査対象

調査対象は愛甲商工会 管内の事業者すべて（個人事業も含む）である。

### ・調査期限

2019年（令和2年）10月20日（火）迄

### ・調査実施と提出方法

調査書を愛甲内の事業者へ郵送し、事業者は回答の上、同封の返信用封筒にて返送していただくことを原則とする。ただし、回収率を高めるため、愛甲商工会に直接持参、ファックス、メール、どの方法でも受付は可とした。

### ・調査並びに集計にあたっての特記事項

本調査におけるサービス業の対象は、生活関連サービス業・娯楽業、医療・福祉サービス、学術研究・専門・技術サービス業、教育学習支援、運輸業、情報通信業、を含む。またその他には、製造業、卸売業、小売業、建設土木業、不動産業、サービス業、飲食業、農林水産業、に分類されないものを含む。

・調査書の内容

今回採用した調査書の内容は、以下のとおりである。

==以下、調査票（質問票）の内容==

質問（１）御社の業種を「○」でお選びください

- 1) 製造業 2) 卸売業 3) 小売業 4) 建設業 5) 不動産業 6) サービス業  
7) 飲食業 8) 農林水産業 9) その他（ ）

質問（２）当てはまる従業員（常時雇用の正規社員のこと。役員除く。個人事業の場合は、親族除く。パートやアルバイトは含みません）の人数を「○」で選んでください

- 1) 0人 2) 1～5人 3) 6人～20人 4) 21人～50人 5) 51人～100人  
6) 101人～200人 7) 201人～300人 8) 301人以上

質問（３）パート、アルバイト（時給を決め時間管理で雇用している従業員）の雇用人数を「○」で選んでください。

- 1) 0人 2) 1～2人 3) 3～4人 4) 5～6人 5) 7～8人  
6) 9～10人 7) 11～20人 8) 21～30人 9) 31人以上

質問（４）事業の形態について「○」で選んでください。

- 1) 個人事業 2) 株式会社 3) 有限会社 4) 合同会社 5) 合名会社  
6) 合資会社

質問（５）当てはまる資本金の額を「○」で囲んでください。個人事業の方は個人事業に「○」をしてください。

- 1) 個人事業 2) 100万円以下 3) 300万円以下 4) 500万円以下  
5) 700万円以下 6) 900万円以下 7) 1000万円以下  
8) 1001万円～5000万円以下 9) 5001万円～1億円以下  
10) 1億1円～3億円以下 11) 3億1円以上

質問（６）当年度は前年に比べ業績(売上-費用=利益、つまり利益)はどうでしたか？  
当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなった 2) やや良くなった 3) 変わらない 4) やや悪くなった  
5) 悪くなった

質問（7）当年度は前年に比べ売上高はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなった
- 2) やや良くなった
- 3) 変わらない
- 4) やや悪くなった
- 5) 悪くなった

質問（8）来年の業績(売上-費用=利益、つまり利益)見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなる
- 2) やや良くなる
- 3) 変わらない
- 4) やや悪くなる
- 5) 悪くなる

質問（9）来年の売上高見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 良くなる
- 2) やや良くなる
- 3) 変わらない
- 4) やや悪くなる
- 5) 悪くなる

質問（10）当年度は前年度に比べ雇用人数はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 増えた
- 2) 変わらない
- 3) 減った

質問（11）来年の雇用人数見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 積極的に増やす
- 2) 可能なら増やす
- 3) 変わらない
- 4) やや減らす
- 5) 大幅に減らす

質問（12）当年度は前年度に比べ設備投資はどうでしたか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 将来の売上確保のために積極的に投資した
- 2) 修繕や保守を目的に投資した
- 3) 特に投資していない

質問（13）来年の設備投資見通しは、当年の推移から判断すると、どのような予想でしょうか？当てはまるものを「○」で選んでください。

- 1) 売上確保のために積極的に増やす
- 2) 修繕や保守を目的に増やす
- 3) 今のところ投資する予定は無い

#### 4. 地域経済動向調査の全体集計とグラフ化

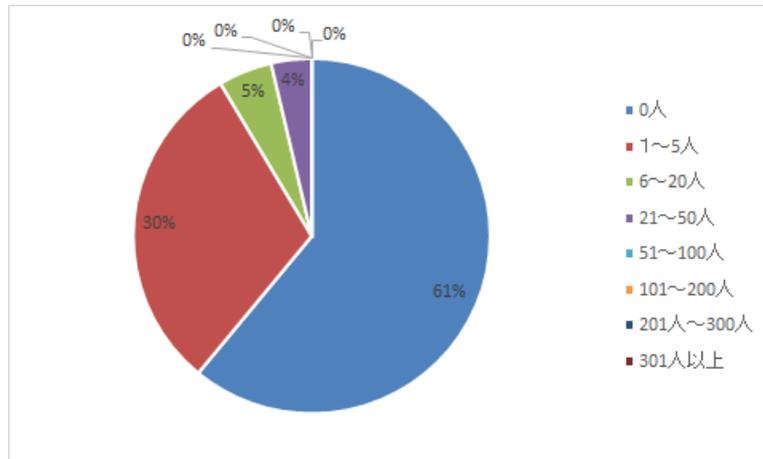
##### (1) 回答事業者の素性と業種構成比

業種名	有効回答者数	業種名	有効回答者数
製造業	18	サービス業	24
卸売業	2	飲食業	8
小売業	9	農林水産業	2
建設土木業	12	その他	4
不動産業	3	<u>合計</u>	<u>82</u>

(回答事業者数)

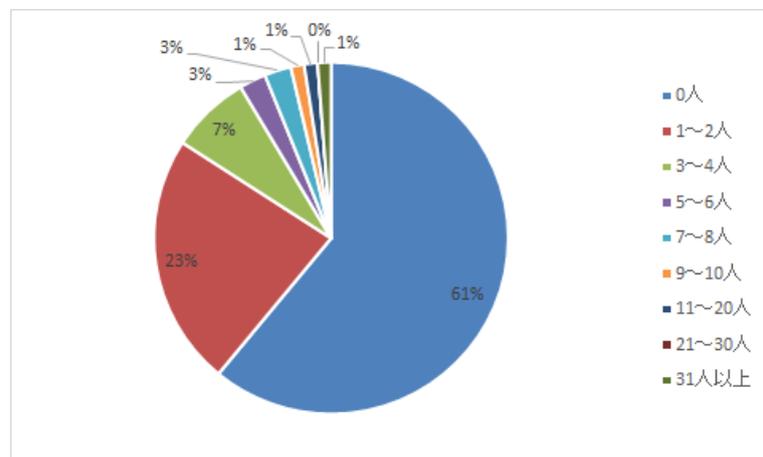
##### (2) 事業者の従業員の数

\*従業員：常時雇用の正規社員のこと。役員除く。個人事業の場合は、親族除く。パートやアルバイトは含まない

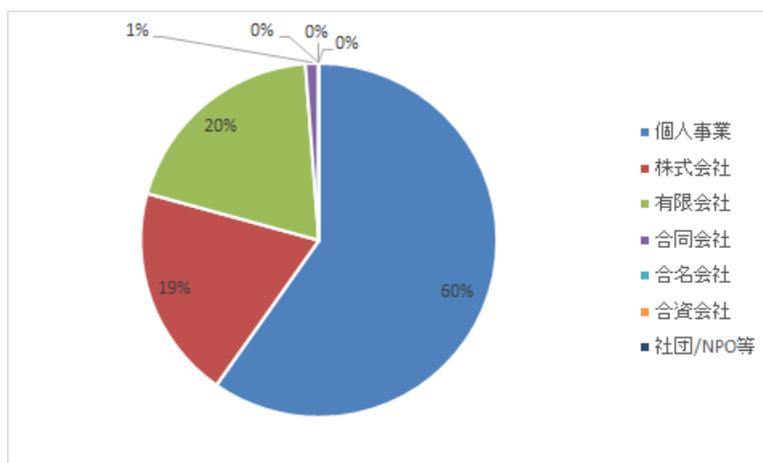


##### (3) パート・アルバイトの雇用人数

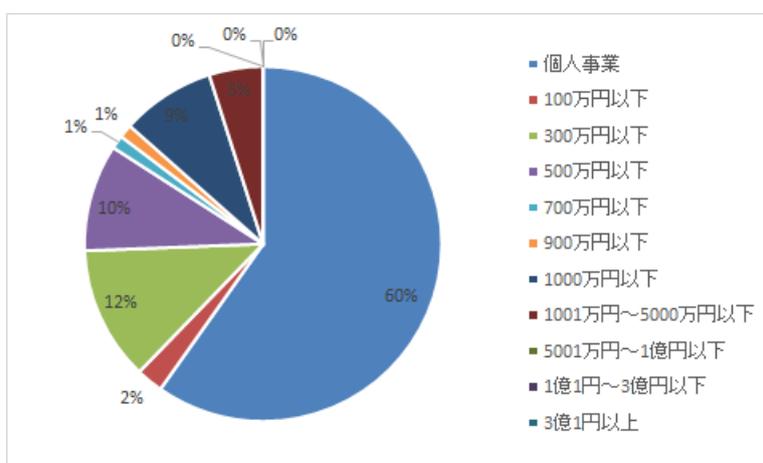
パート、アルバイト：時給を決め、時間管理で雇用している従業員



(4) 事業形態

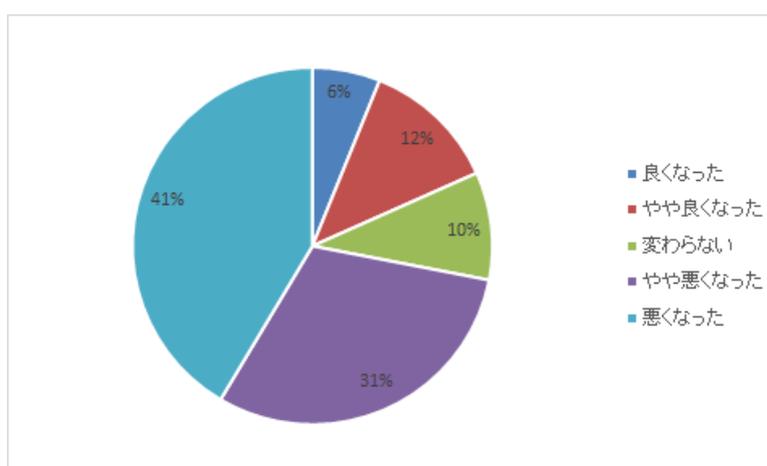


(5) 資本金の額



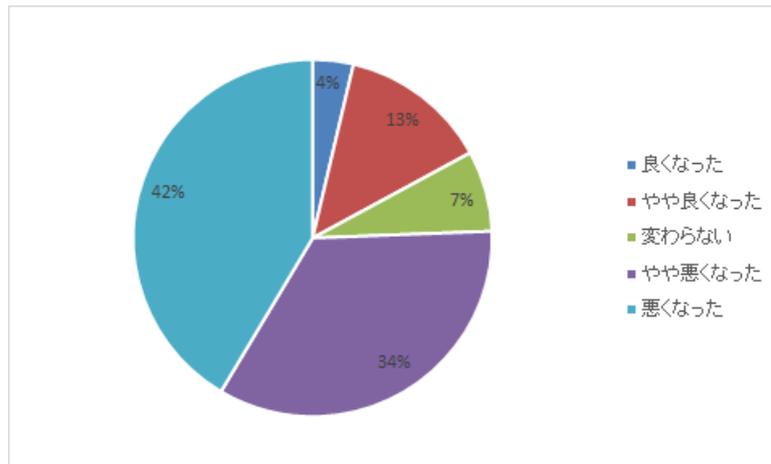
(6) 業績の結果の考察

令和2年の業績の結果の解釈(令和元年比) 業績：売上-費用=利益



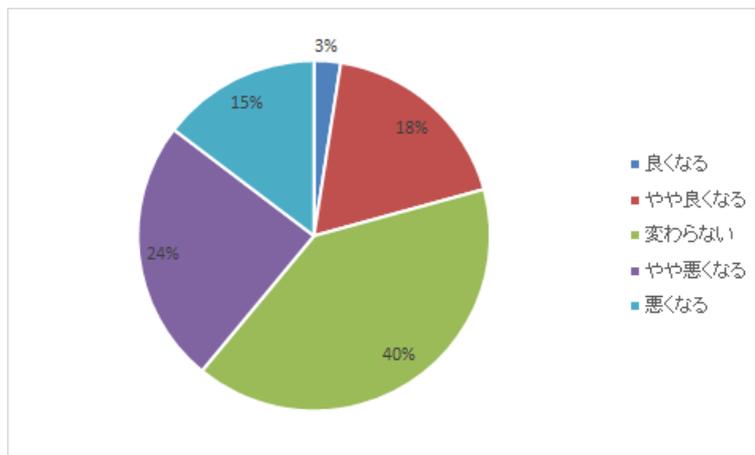
(7) 売上の結果の考察

令和2年の売上の結果の解釈 (令和元年比)



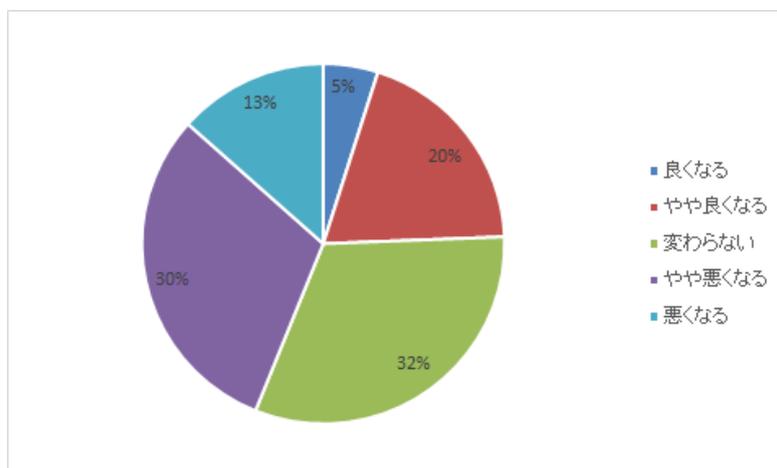
(8) 業績の見通し

令和3年の業績の見通し (令和2年比)



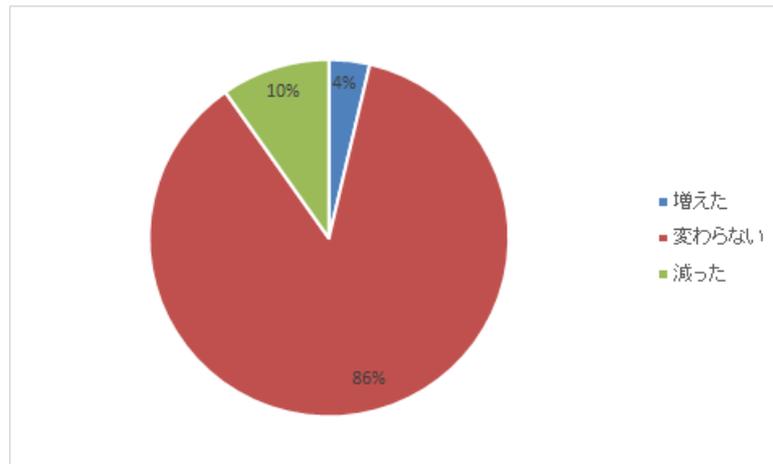
(9) 売上の見通し

令和3年の売上の見通し (令和2年比)



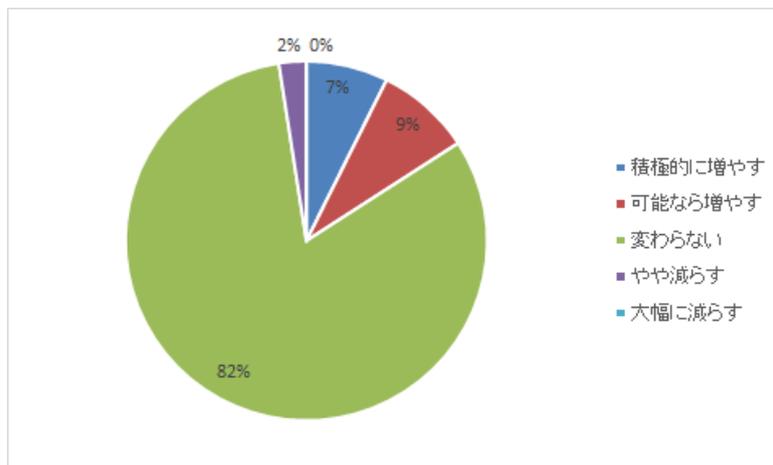
(10) 雇用の結果の考察

令和2年の雇用結果の解釈（令和元年比）



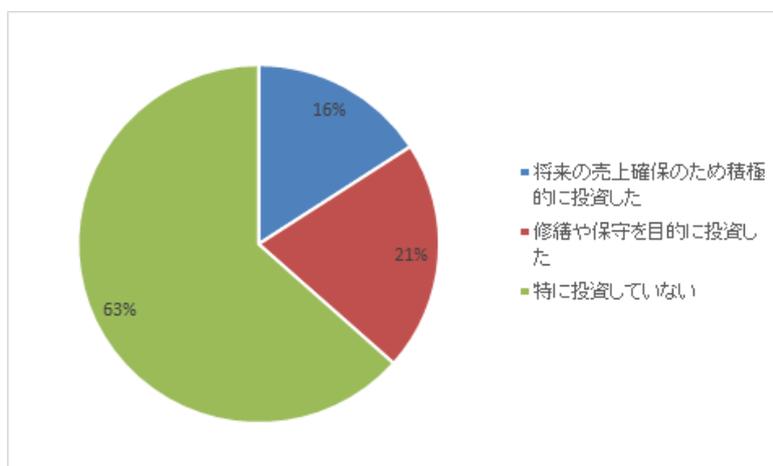
(11) 雇用の見通し

令和3年の雇用の見通し（令和2年比）



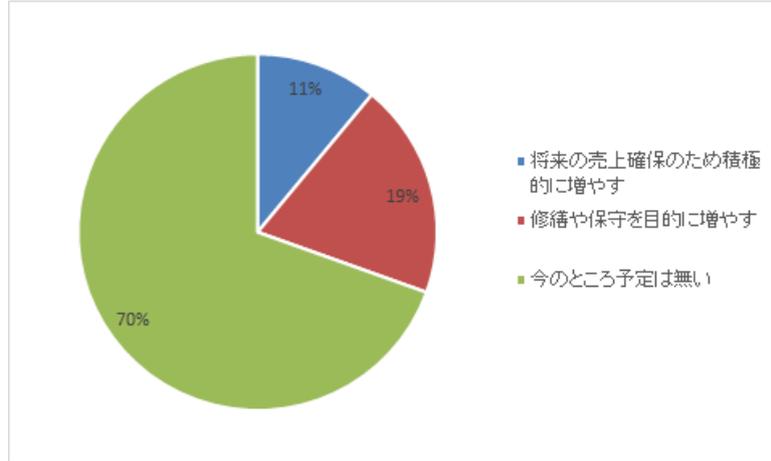
(12) 設備投資の結果の考察

令和2年の設備投資の結果の解釈（令和元年比）



### (13) 設備投資の見通し

令和3年の設備投資の見通し（令和2年比）



### 5. 設備投資意欲と売上見通しの関係性について

本年は昨年と異なり、種々の2次データとの比較はしない。種々の2次データが新型コロナウイルス感染症の拡がりを背景に、公表が遅れる等、比較対象として充足できないからである。なお本項では、管内経営者の経営意欲が、どのような回答の背景により、左右されるのかを探るために、「次年度に向けた設備投資意欲」から「次年度に向けた売上見通し」「雇用見通し」等の考察を試みている。なおここで指す「次年度に向けた設備投資意欲」とは質問13の回答結果を指し、下記のように分類する。

#### 設備投資意欲あり

質問13で「将来の売上確保のため積極的に増やす」「修繕や保守を目的に増やす」と回答した経営者を指している。

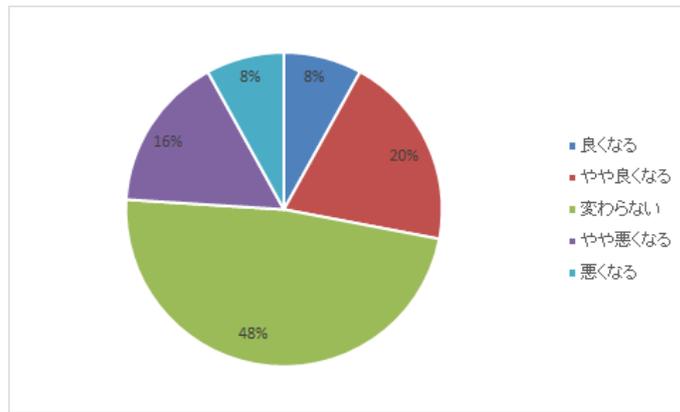
#### 設備投資意欲なし

質問13で「今のところ予定はない」と回答した経営者を指している。

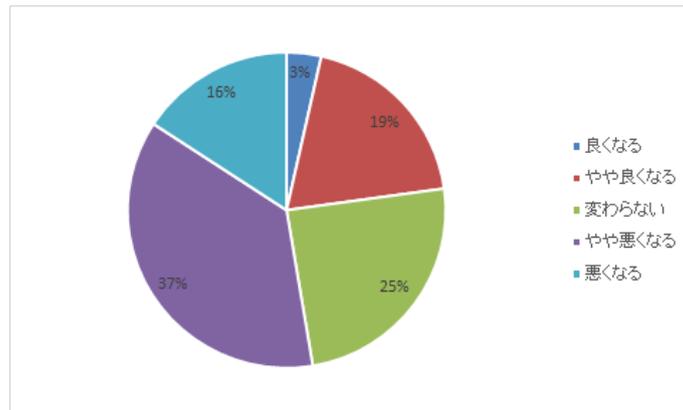
(備考) 昨年(令和元年)においては、高齢化が、経営や事業運営姿勢にどのように表出するのかの考察を試みている。

令和元年の同調査結果報告書も合わせて参照されたい。

〈設備投資意欲有り無しの上見通しの傾向〉



(設備投資意欲有り売上見通し)



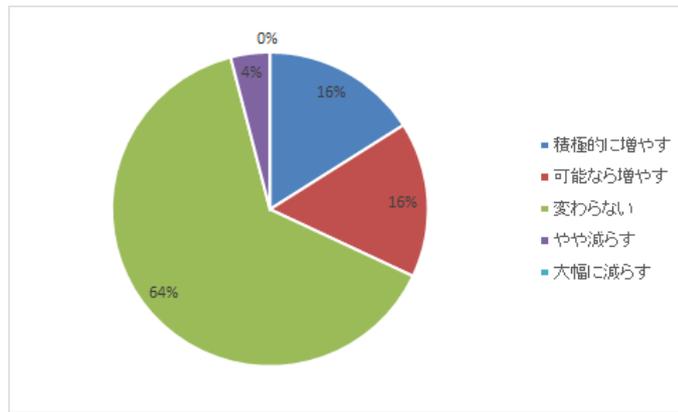
(設備投資意欲無し売上見通し)

**考察**

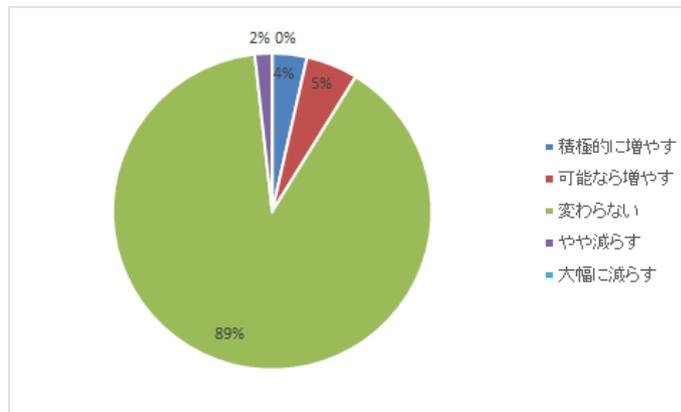
設備投資意欲が高い事業者の方が、売上の見通しが、楽観的（明るい）であることがわかった。商工会の支援スタンスとして、設備投資意欲をかきたてるアプローチが実現できれば、売上向上への間接的な貢献が叶うということである。

設備投資意欲を個社に醸成するためには、小規模事業者持続化補助金等の補助金の活用を薦める等、投資で出費する費用負担の軽減などが考えられる。今後の課題としては、これら補助金等に頼らずに、「設備投資が将来売上獲得の経営資源の蓄積」になる旨を啓発啓蒙していかなければならない。

### 〈設備投資意欲有り無しの見通しの傾向〉



(設備投資意欲有り雇用見通し)



(設備投資意欲無し雇用見通し)

### 考察

設備投資意欲が高い事業者の方が、雇用の見通しが、楽観的（明るい）であることがわかった。商工会の支援スタンスとして、設備投資意欲をかきたてるアプローチが実現できれば、域内の雇用促進に有効であると言える。

設備投資による売上拡大局面においては、非正規、正規社員を雇用する等で、1人あたりの業務負荷の分散と軽減を目指すパターン、あるいは、営業人材等を雇用することで、積極的な売上獲得を目指すパターン等々、個社の置かれている現状により異なる。従って、これらパターン毎に伴走の支援の在り方が、問われる。例えば前パターンであれば、生産性や業務効率化をテーマとしたサポートが必要になるし、後パターンであれば、集客や販促などをテーマとしたサポートが必要になる等である。

また、雇用意欲と設備投資意欲の両方の機運を醸成するために、厚生労働省の業務改善補助金等の活用も一考である。管内事業者においては、補助金や助成金が「雇用分野」で公募があることを知らない方も多いため、情報提供そのものにも支援ニーズがあると判断する。

## 6. 調査結果の視覚化（見える化）：景気判断（個社経営概況）指数

### ・本調査における景気動向指数（個社経営概況指数）の定義

本調査結果では、景気動向指数：ディフュージョンインデックス（略 DI）指数を採用し、地域経済の動向（個社経営概況）を見える化した。

具体的には、回答において「(やや) 良い」「(可能なら) 実施する」をDIでは強気（楽観的）（つまりプラスと表現）とし、「(やや) 悪い」「実施しない」をDIでは弱気（悲観的）（つまりマイナスと表現）とする。結果、景気動向指数は、強気、弱気の回答割合の差で示すことになる。なお、その割合の区分に応じて、天気図を採用し、さらに視覚的に認識しやすいように工夫している。

DI	天気図
30.1 以上	
10.1～30.0	
10.0～△10.0	
△10.1～△30.0	
△30.1 以下	

例えば、令和2年の売上高見通しが、以下のような回答の場合、経営者の令和2年の売上見通しは、強気（楽観的）であったことが視覚的にわかるようになる。



売上高 良い 50% 変わらない 30% 悪い 20%

(50% - 20% = 30%)

・全産業の DI 指数（全産業の景況天気図）

	業績		売上		設備投資	
	値	天気	値	天気	値	天気
令和 2 年結果	△54		△59		△26	
令和 3 年予想	△18		△18		△40	

・業種別の DI 指数（業種別の景況天気図）

〈製造業〉

	業績		売上		設備投資	
	値	天気	値	天気	値	天気
令和 2 年結果	△79		△78		34	
令和 3 年予想	△16		△22		△34	

〈卸売業〉

	業績	売上	設備投資
	令和 2 年結果	DI 算出に必要な個社数充足せず判断無し	
令和 3 年予想			

〈小売業〉

	業績		売上		設備投資	
	値	天気	値	天気	値	天気
令和 2 年結果	△33		△34		△56	
令和 3 年予想	0		△11		△56	

〈建設土木業〉

	業績		売上		設備投資	
	値	天気	値	天気	値	天気
令和 2 年結果	△68		△68		△16	
令和 3 年予想	△41		△50		△16	

〈不動産業〉有効回答未充足につき判断無し

	業績	売上	設備投資
令和2年結果	DI 算出に必要な個社数充足せず判断無し		
令和3年予想			

〈サービス業〉

	業績		売上		設備投資	
令和2年結果	△34		△66		△66	
令和3年予想	△9		△13		△50	

〈飲食業〉

	業績		売上		設備投資	
令和2年結果	△50		△50		0	
令和3年予想	△50		△25		△50	

〈農林水産業〉

	業績	売上	設備投資
令和2年結果	DI 算出に必要な個社数充足せず判断無し		
令和3年予想			

〈その他〉

	業績	売上	設備投資
令和2年結果	DI 算出に必要な個社数充足せず判断無し		
令和3年予想			

## 7. 調査に関するお問合せ先

愛甲商工会 和田宛

## 8. 今後の当該調査の課題について

各種 DI 指数は、個社の個々の回答の集合体を表現したものとと言えます。従って、調査書の回答内容と、回答した個社の実際の売上高、営業利益、売上高成長率等の経営分析指標の収集が叶えば、地域産業全体、業種別の重回帰式の作成が可能になります。

この式（\*注）があれば、個社の利用度は益々広がります。具体的には、回答結果を式に入力することで、自社の売上見込や売上高成長率の見込等が算出可能になるからです。つまり、地域産業や業種別の経済動向モデルを構築できるのです。次年度以降、この論点を進めるとともに、webでの自動化の準備を進めていきたいものです。

（\*注）xには各質問の回答結果を入力します。

売上 =  $a x + b x + c x + \dots$

売上高成長率 =  $a x + b x + c x - dx + \dots$

営業利益 =  $a x + b x + c x + \dots$